

平成27年度 取引証券会社の債券購入実績及び検証結果

1. 証券会社の債券購入実績

個別債券毎に取引証券会社6社すべてに対して条件の提示を求め、最良の条件を提示した証券会社から購入した。

平成27年度の購入実績は795億円であり、証券会社別の購入金額は1社当たり11億円～398億円、1社当たり比率は1.4%～50.1%となった。

＜購入金額別の証券会社分布＞

| 1社当たりの購入金額 | 年度累計 |
|-----------------|---------|
| 280億円以上 | 1社(A) |
| 200億円以上 280億円未満 | 1社(B) |
| 120億円以上 200億円未満 | — |
| 40億円以上 120億円未満 | 2社(D E) |
| 40億円未満 | 2社(C F) |

| 1社当たりの購入金額 | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|---------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 70億円以上 | 1社(A) | 2社(A B) | 2社(A B) | — |
| 50億円以上 70億円未満 | 2社(B E) | — | — | — |
| 30億円以上 50億円未満 | — | — | 1社(D) | 1社(A) |
| 10億円以上 30億円未満 | — | — | — | 1社(D) |
| 10億円未満 | 3社(C D F) | 4社(C D E F) | 3社(C E F) | 4社(B C E F) |

2. 取引証券会社の検証

取引証券会社については、半期毎に変更の必要性の検証を行うこととしており、証券会社との安全・確実な取引の実施及び効率的かつ最善な取引実施の観点から、平成27年度下半期における証券会社の検証を実施した。

(1) 安全・確実な取引の検証

以下5点の確認を常時実施し、事態の発生都度、その内容及び重要性を判断し、必要な場合には取引停止等の処分を決定するが、6社いずれも問題は発生していない。

- ①コンプライアンスに抵触していないか
- ②経営に重大な問題が生じていないか
- ③取引上の重大な事務ミスはないか
- ④自己資本規制比率が200%以上であるか
- ⑤国債落札総額及び普通社債の主幹事実績において一定の実績があるか

(2) 効率的かつ最善な取引の検証

下半期における取引執行能力及び情報提供能力を検証した結果、6社いずれも問題はなかった。

上記の結果、取引証券会社6社[※]との取引を継続することとした。

*SMBC日興証券(株) 大和証券(株) 野村証券(株) みずほ証券(株)
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券(株) メリルリンチ日本証券(株)

以上